



BOOST

Broadening Opportunities for Outstanding young researchers and doctoral students in Strategic areas

国家戦略分野の若手研究者及び 博士後期課程学生の育成事業（BOOST） 次世代AI人材育成プログラム（若手研究者支援）

2026年4月

プログラムオフィサー 河原林健一

（国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授
/ 東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授）

自己紹介

河原林 健一 かわらばやし けんいち



■所属

国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授
東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授

■専門

離散数学、理論計算機科学、組合せ最適化、オペレーションリサーチ、人工知能

■略歴

2003年 東北大学大学院情報学研究科 助手
2006年 国立情報学研究所 助教授（2007年より准教授）
2009年 国立情報学研究所 教授（現在）
2019年 国立情報学研究所 副所長（2021年まで）
2022年 東京大学大学院情報理工学系研究科 教授（現在）

背景 AI分野

情報分野は若い人が世界のトップ！

Steve Jobs(Apple), Bill Gates(Microsoft), Sergey Brin, Larry Page(Google), Mark Zuckerberg(Facebook), Jeff Bezos(Amazon)は、25-35歳で人生最大のチャレンジに成功！

Google: 平均年齢30歳、平均年収 > 1500万。GAFAsはほぼ同じレベル

日本でもACT-Xが好評！



若手研究者のキャリアアップと独自の発想で世界的な研究を行うことへの支援

+

世界的な研究業績、および研究分野での最大のチャレンジを支援するを提供

若手研究者が、AI分野の次世代研究者をATTRACTする
「エコシステム」構築も視野！

公募の対象となる研究分野

- 次世代AI分野（AI分野および AI分野における新興・融合領域）を対象とし、AI研究の深化、および異分野研究にAIを活用する分野融合研究について、幅広い研究提案を募集します。

次世代AI分野

AI研究

基礎から応用まで含めた幅広いAI研究の提案

AI基盤、数理、自然言語処理、
画像認識、音声認識、
アルゴリズム、最適化、
アーキテクチャ、
ヒューマンインタラクション、
ロボティクス、セキュリティ、
機械学習、HPC、
等

AI分野における新興・融合領域

理工系や人文社会系を含むあらゆる学問分野に最先端のAI技術を取り込み、格段に研究を発展させる意欲的な提案

AI×ライフサイエンス
AI×情報通信
AI×環境・農学
AI×ナノテク・材料
AI×エネルギー
AI×ものづくり技術（機械・電気電子・化学工学）
AI×社会基盤（土木・建築・防災）
AI×フロンティア（航空・船舶）
AI×人文・社会
等

募集・選考の方針

■ 提案書に明記してほしいポイント

現在までに残した「世界的」な業績、および研究の着想や独創性、5年間の研究で取り組む目標と研究内容を記載

- ・研究課題の**チャレンジングな点を明記**
- ・長期的な観点で**将来的に目指す目標設定や夢**

次世代AI分野に大きくインパクトを与える研究、または新たな発想に基づく研究の提案を期待。

■ 本プログラムの留意事項

- ・若手研究者が自らの発想で未来に向けて果敢に挑戦すること
- ・提案者が自己のアイデアに基づいて考案した個人研究であること
- ・**周辺研究分野の研究者に理解できるような記述・プレゼンを目指してほしい！**

プログラム運営の基本方針

- 第一線で活躍するアドバイザー（AD）により、研究構想、研究計画への助言、そしてキャリアアップへの助言を予定。
- 同時期に採択となった本研究領域の若手研究者との交流、PO、ADとの議論の場を設ける予定。
- 短期的な成果を目指すのではなく、**各々の研究分野に大きなインパクトを与える研究課題への取り組みを強く推奨**。評価も当然「チャレンジ」を加味！
- ライフイベント（出産・子育て・介護）による中断・延長措置など、若手研究者の**ワークライフバランスに配慮した運営**。

このBOOSTのメリットは

- 研究者

給与水準向上、研究費獲得、研究環境向上

- クロスアポイント先

優秀な若手研究者の呼び込み

- クロスアポイント元

所属研究者のスキルアップ、モチベーション向上

このメリットを理解して、三者がWinner！ になるような世界を作りましょう！

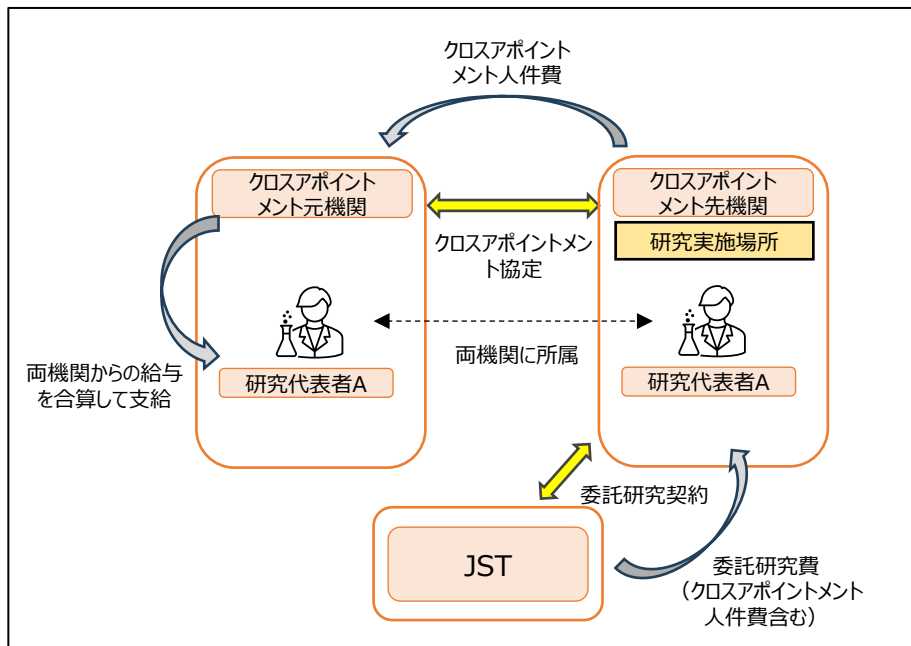
BOOST 次世代AI人材育成プログラム（若手研究者支援）の概要

BOOST: Broadening Opportunities for Outstanding young researchers and doctoral students in Strategic areas

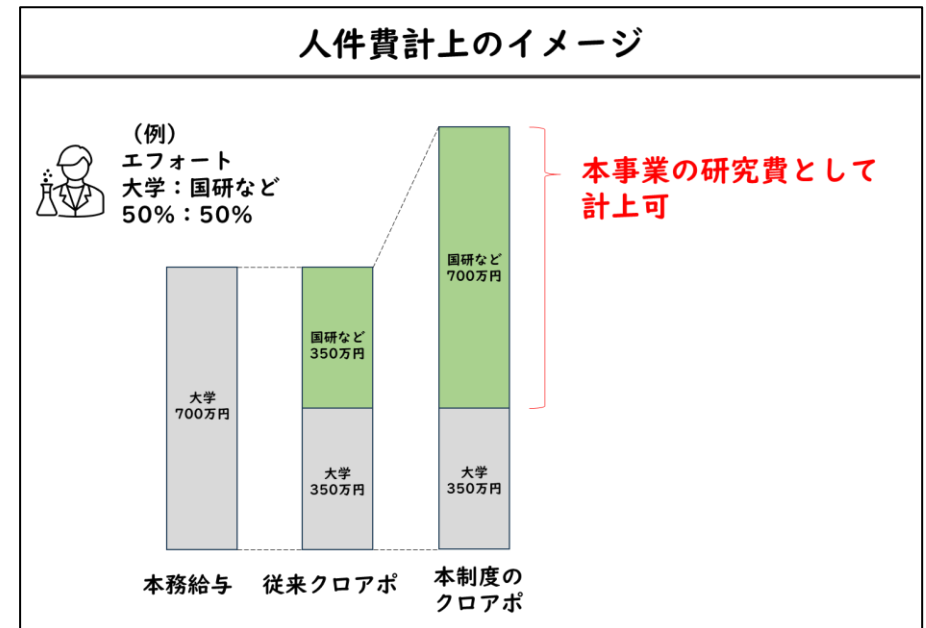
■ 本プログラムにおけるクロスアポイントメントについて

・クロスアポイントメントにかかる人件費を直接経費として計上可。

(ただし、クロスアポイントメント先が民間企業の場合は当該費用の計上不可。)



本プログラムにおけるクロスアポイントメント（例）



本プログラムにおける処遇向上のイメージ（文部科学省資料より抜粋）

BOOSTに採用されると？

BOOST「ブランド」をつかえるようになる！

- BOOST研究者 = NEXT Leaderと認識されるようになる！

若手の登竜門の「賞」のようなもの！ → 昇進・栄転に有利に！

チャレンジをする研究支援！

- 研究分野での大きなチャレンジに対して、心が折れることが多い！

→ 5年間は、「豊」な心で大きなチャレンジを！

BOOSTを通じてやってほしいこと！

- ・若手研究者から、次世代のトップ研究者を作り出す「**エコシステム**」構築を目指す
- ・ライフイベントを経験する世代が、自分たちで研究スタイルを構築！
→ 女性研究者のみならず、男性研究者も育休をとることを推進
- ・将来の指導的立場になる研究者同士のネットワークづくり！
- ・大学の研究環境、そして**研究者の給与基準の向上**！
- ・トップ若手研究者のアウトリーチ活動

研究期間、研究費等

支援期間： 原則 5 年間

研究費： 総額5,000万円（直接経費）

※別途間接経費(直接経費の 30%が上限)を措置

採択予定課題数： 最大60件程度（ただし、応募の状況等によって変動）

※令和6年度 応募325件 採択80件 採択率24.6%

※令和7年度 応募237件 採択59件 採択率24.9%

(参照) 募集要項 2.3 研究期間、2.4 研究費（上限額）、2.5 採択予定課題数

BOOSTの応募要件などの注意 1

- JST他グラントとの**重複制限は、ほぼなし**。
- 学位取得 **10年未満**、が応募条件であるが、
 1. ライフイベントを経験した女性研究者は、学位取得10年以上でも、応募できる可能性大いにあり！
 2. 育児、あるいは子供、パートナー、親の介護のために研究に専念できない期間のあった研究者（男性研究者も含む）も、学位取得10年以上でも、応募できる可能性あり！

募集要項の確認を！ （2.6.1 応募者の要件 f.など）

BOOSTの応募要件などの注意 2

- 今回の申請時にクオアポ先機関については未定でも応募可能。
- 順次、BOOSTのHPで「クオアポ受け入れ整備機関」が発表され、これらの研究機関は、**今回のBOOSTのクオアポ先としての要件を満たす。**
- 研究開始は最短で2027年4月（クオアポの準備等のため、1年間の研究開始猶予あり。）

募集・選考スケジュール(予定)

研究提案の募集開始	<u>2026年4月16日（木）</u>
研究提案の受付締切 (e-Radによる受付期限日時)	<u>2026年6月11日（木）午前12時（正午）</u> <u><厳守></u>
書類選考期間	2026年6月～9月
面接対象者への通知	2026年10月上旬～10月中旬
面接選考期間	2026年10月～11月
選定課題の通知・発表	2026年12月以降順次通知・発表
研究開始	2027年4月以降開始

※下線を付した日付は確定していますが、他の日程は全て予定です。今後変更となる場合があります。

※選考の日程や連絡方法は決まり次第、研究提案募集ウェブページにてお知らせします。

募集・選考に関するお問い合わせ

募集・選考期間の連絡事項は

BOOST（若手研究者支援）の募集ホームページ

<https://www.jst.go.jp/program/boost/yr/call/index.html>

にて公開しています。

ご不明な点がありましたら、募集ホームページに記載している
問合せ先へご連絡ください。

boost-yr-inquiry@jst.go.jp